

カンボジアスタディツアーを
終えて

D21-4003 大槻優香



目次

- 旅の行程
- カンボジアで学んだこと
- 学び①
- 学び②
- さいごに



～10日目
教員養成大学との
交流会
自由行動
HOUSE支援先の
小学校訪問
AEON MALL

今回の旅での学び

- ① 子どもの健康と環境との関係性
- ② 平和と教育について

①子どもの健康と環境との関係性

- 死亡原因の多くが下痢、予防可能な病気
- 乳児死亡率23人/1000人（2019年、日本2人/1000人）

→インフラや医療サービスが未発達

高温多湿→虫や動物が媒介する病気、食中毒等

- 学校保健が未発達 基本的な保健の概念がない

➡ 環境に合わせた学校保健の重要性

② 平和と教育について



トゥールスレン虐殺博物館(S21)

- ポルポト政権下、拷問が行われていた施設
- 約20,000人の人々が収容→生存者8名
- ベッドや足かせが当時のまま
- 写真や記録、絵画、拷問用具

キリング・フィールド

- ポルポト政権下で処刑が行われていた
- 中心の慰霊塔
- 集合墓地
- 人々の骨や衣類
- 子どもを殺したキリング・ツリー



② 平和と教育について

- 教育を受けた罪

⇔ ポルポト兵の多くは教育を受けていない人

- 感じた矛盾

数字、割り算の便利さを知っていた

生還した8人は能力を持ち「使える」人

- 教育者としてどう伝えていくか



ご清聴ありがとうございました。

参考文献

- ユニセフ、世界子供白書2021、<https://www.unicef.or.jp/sowc/>、2023.4.11
- 厚生労働省、アジア諸国の水道の概況、<https://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/kenkou/suido/hourei/jimuren/h21/dl/210601-1n.pdf>、2023.4.19
- 国際NGO礎の石孤児院カンボジア、カンボジアの医療、<http://ishizue-cambodia.org/kankyo/medical.html>、2023.4.15